

さわてい 埼玉

協会設立20周年記念事業

当協会は2019年3月におかげさまで設立20周年を迎えました。この20周年を記念する事業として、電気のない村ランブーン県メーター郡ホワイ・ヒヤ村での水道新設事業と、タイの学生による手縫いコースターの記念品製作に取り組みました。

①山岳地域での水道新設事業

2018年2月に実施したタイ王国への親善訪問にて、現地の村長と原会長が対談を行った際、逼迫した課題としてホワイ・ヒヤ村での水道施設設置について要請を受けました。村長からの強い思いを受け、当協会は2018年度の総会でホワイ・ヒヤ村での水道新設事業に取り組みことを決定し、協会設立20周年の節目となる記念事業に位置付けることとしました。

ホワイ・ヒヤ村は山岳地区に位置する村で、電気が無く、水道設備も不十分のため、生活用水の確保が困難な状況となっていました。今回の水道新設事業は、山裾を流れる小川の川床に井戸を掘り、太陽電池の電力を利用して、ポンプにより井戸から汲み上げた水を村の一番高い場所にあるタンクへ送水し、村の人々へ生活用水として供給します。



▲完成した井戸を囲む村の人々



▲ポンプの動力となる太陽電池



▲井戸からの水を蓄え、村へ供給するタンク

現地会員の堀田様や協力者のカムヌアンさんにご尽力いただき、取水地や太陽電池パネルの設置場所、施工方法などについて、現地調査を行いながら検討を進めました。2018年9月11日(火)に調印式を執り行い、同年10月末にはポンプの動力となる太陽電池の設置と水道管工事が完了。乾季(11月～2月)に入り、川の水が干上がった段階で開始する予定の川床の井戸掘り工事は、度重なる大雨に見舞われて難航していましたが、3月25日には無事終了しました。

水道設備が完成した事により生活用水が安定供給され、ホワイ・ヒヤ村の皆さんには大変感謝されています。

当協会の設立20周年にあたり



会長
原 敏成

皆さんこんにちは。当協会は、埼玉県とタイ王国の友好関係の進展を図ることを目的として1999年3月16日に設立され、おかげさまで今年、20年を迎えることができました。これもひとえに会員の皆さまのご支援とご協力の賜と深く感謝申し上げます。

当協会は、数々の友好親善事業への協力や人材育成支援など、民間ベースでの「草の根外交」に取り組んでまいりました。

昨年度はタイ王国への協力支援として、特にインフラ整備事業に力を入れてまいりました。日タイ修好130周年記念事業の継続として、電気の無い村の通学路への太陽電池式街灯の設置を行ったほか、協会設立20周年記念事業として、山岳地域での水道新設事業を実施し、無事完成しました。

また、協会設立20周年の記念品として、現地中学生による手縫いのコースターの製作に取り組みました。コースターは今年の総会において、会員の皆さまに配布したいと考えております。これを期に、このような1村1品運動がタイ北部地域にて広がることも願っております。

今年度も支援のニーズ調査を実施しながら、当協会としてどのような支援ができるか検討し、実行してまいります。と考えております。

最後に、今後とも埼玉県とタイ王国の友好関係がますます進展しますよう、あらためて皆さま方のご支援、ご協力を賜りたく、よろしくお願ひ申し上げます。

2 協会設立20周年記念品 コースターの製作

協会設立20周年の記念品はタイのお土産が良いのではないかと？という原会長の着想から、記念品としてのコースター製作が始まりました。

コースターの生産は、2018年2月のタイ親善訪問にて視察したパラオ校の生徒の皆さんに依頼し、5枚×300セットの計1,500枚を製作することが決定しました。

家庭科の先生に指導を受けながら、機織りに糸を小さく巻き、模様を編み込んでいく地道な作業。中には休日にも作業に励んでくれる生徒さんもいたそうです。村の伝統模様を思い出しながら手織りしたコースターの製作期間は半年にも及びました。この間生徒の皆さんの技術や創造性も向上し、見事な出来栄えのコースターが完成しました。コースター以外にも、バッグやポシェット、財布などレパートリーが増え、ばら売りも出来るようになったそうです。

記念品のコースターは2019年度の総会にて会員の皆さんに配布する予定です。生徒の皆さんが心を込めて織ったコースターが会員の皆さんの手に届き、1村1品運動がさらに広がることを願っています。



▲カレン族の伝統模様の編み込み

▲コースター製作に励む子ども達▲



▲1500枚のコースター完成授与式



▲記念品コースター (5枚1セット)
※STFAは埼玉・タイ王国友好協会の頭文字

高校生への奨学支援資金授与

第4期支援候補生との

スカイプ面接を実施

当協会では、2016年より毎年、高校生への奨学支援資金の授与を行っています。これまで第1期支援生徒3名、第2期支援生徒3名、第3期支援生徒2名の計8名へ奨学支援資金を授与してきました。今年度も引き続き支援を行うにあたり、2019年2月26日(火)に、第4期支援候補生と初の試みでスカイプによる面接を実施しました。

面接当日、タイ現地では第4期支援候補生のヨサボン君とナタン君の外、パラオ校の先生や保護者の方々、仲介として協力いただいた現地会員の堀田様が同席されました。一方、事務局側は原会長、萩原事務局長、小高事務局員の3名が面接に臨みました。

面接では支援候補生2人の学校での様子や性格、趣味などについて話を聞くことが出来ました。ヨサボン君は体育の授業など運動が好きで、少し恥ずかしがり屋とのことでした。ナタン君はギター演奏が好きで、家庭的な性格だそうです。現在中学3年生の2人ですが(面接当時)、高校に入学したら、両親の期待に応えるためにも一生懸命勉強に励みたいと意気込んでいました。



▲候補生とスカイプで会話する原会長



▲ヨサボン君



▲ナタン君

継続支援事業

埼玉ータイ 光リレー

2017年より日タイ修好130周年記念事業として始動した「埼玉ータイ光リレー」は、電気のない村の通学路へ太陽電池式街灯を寄贈する支援事業です。村から村へ光のバトンを繋げていきたいという思いから「光リレー」と名付けられました。

第1回目の2017年はランブーン県メーター郡ホワイホーム・ノーク村の通学路へ5基寄贈し、第2回目の昨年は同郡のホワイホーム・ナイ村の通学路へ5基寄贈しました。現地会員の堀田様からは、第3回目となる2019年の候補地として、孤立村のクンコン村をご提案いただいております。

また、太陽光パネル・電池・インバーターが一体となったリチウム電池式の新型太陽電池式街灯の導入も検討しています。新型は従来よりも安く、軽量で工事が簡単のため、より多くの街灯が設置できると見込んでいます。

当協会が光リレーの支援を進めているメーター郡の南地区には幼小小学校が3つあり、約120名の子も達が毎日山の道を通学しています。朝夕の暗い季節は小道の分岐で衝突事故が起

こりやすく、また国有地のため電信柱の設置が許可されていないため、太陽電池式街灯の寄贈は生徒の父母や先生から大変感謝されていることです。今後も総会の承認を得ながら、太陽電池式街灯が必要な村へ計画的に寄贈を進め、光のバトンを繋げていきたいと考えています。



▲光リレー第2弾ホワイホーム・ナイ村の街灯



タイ工業省研修員視察受入

埼玉県はタイ王国工業省と「相互協力に関する覚書」を締結し、埼玉県とタイ王国の中小企業のビジネス環境の構築や経済交流を支援しています。また、この覚書に基づき、埼玉県では毎年、タイ工業省の若手職員を研修員として受け入れています。今年も1月24日(木)～1月31日(木)の間、研修員2名の受入が実施されました。

研修の視察先として当協会事務局である武州ガス(株)へ埼玉県より受入依頼があり、1月28日(月)に研修員2名が当社を訪問しました。当日は埼玉ータイ王国友好協会の取組みと武州ガスの事業概要を説明し、質疑応答が交わされました。研修員2名は、武州ガス(株)での研修を通じて、埼玉県とタイでは経済協力だけ



▲武州ガス(株)での研修の様子

ではなく、教育分野での協力も行われていることを知り、とても感銘を受けたということでした。

この研修をきっかけに、埼玉県とタイ王国の架け橋となる人材が育ち、双方の交流が更に深まることを期待しています。

「国際教育支援社会貢献賞」を受賞

当協会では、経済的貧困のため教育の機会に恵まれないタイ・ラオス・ベトナムなどの子どもたちの中学生就学を支援する「ダルニー奨学金」に協力しています。この度、当協会が2000年から永年にわたりダルニー奨学金に協力してきたことへの感謝の証として、ダルニー奨学金を運営する公益財団法人国際センターより「国際教育支援社会貢献賞」を受賞しました。

また、国際センターは、2018年11月9日(金)に支援者への「感謝の会」を初めて開催し、当協会から小高事務局員が出席しました。「感謝の会」では国際センター理事長の秋尾晃正様からダルニー奨学金の支援者へ感謝の意が述べられました。また、タイ王国大使館公使のチュ



▲前列右から2番目より研修員のティティワン・スタノンさん、ブンチャラット・スッパガムノードさん



▲「国際教育支援社会貢献賞」賞状

埼玉・タイ王国友好協会からのお知らせ

第20回 タイ・フェスティバル2019

今年のテーマは

Innovation&Sustainability

入場無料 5月11日(土) 12日(日)

10:00 代々木公園
20:00 イベント広場

第21回総会開催

下記の要領で総会を開催します。

バンサーン・ブンナーク駐日タイ王国特命全権大使のご講演を予定していますので、ぜひご出席ください。

日時: 2019年7月17日(水)

16:00~17:10 総会・講演会

17:20~18:30 懇親会

場所: 川越東武ホテル

川越市脇田町29-1 ☎049-225-0111

タイ王国空手連盟 と川越市

東京2020オリンピック競技大会 事前キャンプに関する協定を締結

川越市は東京2020オリンピック競技大会の事前キャンプ誘致の一環として、昨年12月にタイ王国空手連盟所属のジュニア選手団が市内を訪問した際、市内在住のタイ王国元空手選手を介してトレーニングを支援しました。

この支援を契機に協議が進み、2019年2月14日(木)、川越市(市長代理:栗原副市長)はタイ王国空手連盟(アニワット・シリデワフロン会長)を訪問し、川越市とタイ王国空手連盟による東京2020オリンピック競技大会事前キャンプに関する協定を締結しました。

事前キャンプ実施時には練習施設の提供等の支援を行うとともに、川越市とタイ王国とのスポーツ・文化の交流を推進することです。



▲2019年2月14日(木) アニワット・シリデワフロン会長(右)と栗原副市長(左) (タイ王国スポーツ庁にて)

埼玉県と県内自治体および鉄道事業者との連携事業

SNSによるタイ観光客誘致の取組み

タイから日本を訪れる旅行者は昨年100万人を超え、今後も増加することが見込まれます。そこで、埼玉県では県内自治体や鉄道事業者と連携して、タイ現地様子やプロモーションを行っています。

昨年5月にはタイで人気の女優2名を「LOVE SAIYAMA アンバサダー」に委嘱し、県内観光地を巡っていた様子やSNSやホームページを通じて情報発信しています。秩父の芝桜、いちご狩り、長瀨のライン下りを紹介した投稿では7万

件を超える「いいね数」を獲得したほか、現地の様々なメディアにも取り上げられました。

埼玉県は、タイの皆さんにぜひ県内を訪れていただき、ここにしかない魅力を感じていただきたいと考えているそうです。



▲提供:埼玉県観光課



埼玉・タイ王国友好協会ウェブサイト

<http://www.saitama-thai-fa.ecnet.jp/>

・会員増強にお役立て下さい

会 員 募 集

年会費 法人会員 2万円 個人会員 2千円 問い合わせ TEL:049-247-5428 FAX:049-246-2118

(武州ガス(株)内)

編集後記

協会でもスカイプによる通信が可能になり、両国の親善の距離は益々短縮されることになりました。

今年は教育支援生徒から初めて大学生が生まれ、生徒のこれからの頑張りも期待したいです。